

# T796 取扱説明書

T796-z-2511

ご購入ありがとうございます。

ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い

下さいませようお願い申し上げます。

本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

## 製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度 : 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃ で使用した場合)  
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
  - 使用温度範囲 : 0 ~ +40℃ ※結露なきこと  
(外観/機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
  - 使用推奨電池 : 単 3 形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 2 個
  - 電池寿命 : 約 12 ヶ月 (単 3 形アルカリ乾電池 2 個を使用し 1 日にアラームを 30 秒、ライトを 1 回使用した場合)
  - 電波受信 : 40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し  
現在時刻に合わせる  
●自動受信 (最多 5 回 / 1 日) ●手動受信
  - 時刻表示 : 12 時間制表示、または 24 時間制表示
  - 温度計 : 表示範囲: -9.9 ~ +49.9℃  
※-9.9℃より低いと LLL  
+49.9℃より高いと HH.H を表示  
精度: ±2℃
  - 湿度計 : 表示範囲: 20 ~ 95%RH(%RH は相対湿度の単位です)  
※20%RHより低いと LL  
95%RHより高いと HH を表示  
精度: ±5%RH (常温時 40 ~ 80%RH の範囲)  
±8%RH (上記以外の範囲)
  - 環境目安表示 : 快適/多湿/乾燥
  - アラーム : 電子音 (1 分間オートストップ)
  - スヌーズ : 無制限繰り返し可能
  - スヌーズ間隔設定 : スヌーズ間隔任意設定 (5~60 分)
  - ライト : 残照機能 (約 5 秒間)
  - 電波受信状況表示
  - 電池交換お知らせ表示
- ※直射日光や強い光が長時間本体に当たると、部材の変形、変色、劣化の原因になります。

## 液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 0 ~ +40℃ の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示は 5 年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

## 電池の交換について

- 電池容量が不足してくると、液晶表示が薄くなる場合があります。 <電池交換お知らせマーク>
- 電池容量が少なくなると、電池交換お知らせマークが点灯します。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい電池に 2 個同時に交換して下さい。
- ※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。



## リセット操作について

電池フタを開けて単 3 形乾電池 2 個を電池ホルダから外し、リセットして下さい。電池を電池ホルダから外した直後は、静電気や内部に残っている電流により誤動作(誤表示)する場合がありますため、液晶表示に何も表示されていないことを確認してから再度電池を入れて下さい。

## 温度湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 空気は「かたまり」で移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と、部屋の隅の空気が淀んだ所とは、差が生じます。そのため、他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因になりますので、ご注意ください。

## 電波時計について

電波時計とは  
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。  
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは  
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局: おおたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局: はがね山標準電波送信所」の国内 2 か所にあります。

※標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

### 標準電波の送信停止について

標準電波は毎時 15 分と 45 分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波 (送信停止) することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 日本国外での使用について

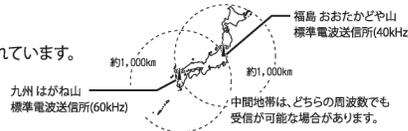
本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

### 電波の受信範囲について

送信所からおおむね半径 1000km とされています。

※電波を受信できない場合は、

内蔵クォーツの精度で計時します。



### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や、誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
  - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
  - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
  - 金属製の雨戸やブラインドの近く
  - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
  - 自動車、電車、飛行機などの中
  - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
  - スチール机などの金属製家具の上や近く
  - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jy.nict.go.jp>

## 自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

## 受信の状態について (電波受信状況表示と受信マーク)

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| ■電波受信モードに入った状態です。(電波を探している状態)<br>点滅中 | ■電波受信中です。<br>点滅中                                 |
| ■受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。<br>点灯       | ■受信に失敗して終了しています。<br>※次の受信開始(点滅)まで、表示されません。<br>消灯 |

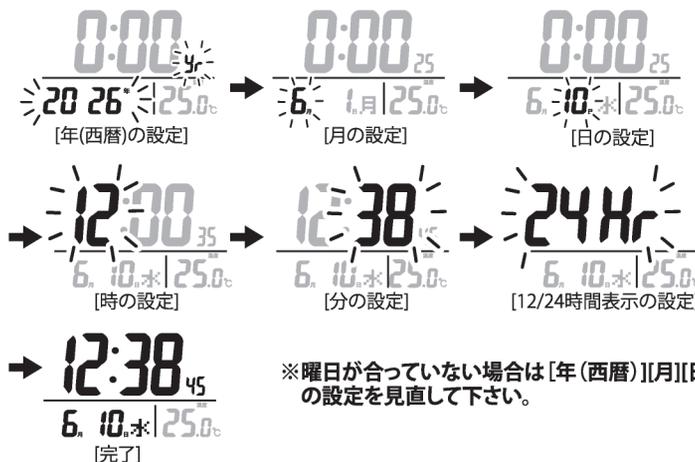
## 手動で時刻を設定する

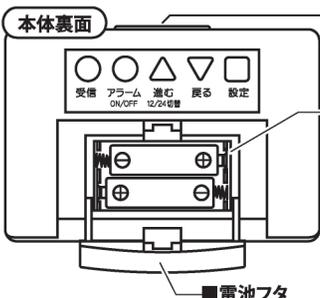
### 注意

※電波受信中(受信マークの点滅中)は手動による時刻設定はできません。  
※設定中の点滅は約 60 秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

- ①通常時刻表示のときに設定ボタン■を 2 秒以上押して下さい。  
→時刻設定モードに入り、画面左下に[年(西暦)]が表示し点滅します。
- ②進むボタン▲/戻るボタン▼を押して[年(西暦)]を設定して下さい。
- ③設定ボタン■を押すごとに[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]→[12/24 時間表示]が点滅するので、進むボタン▲/戻るボタン▼を押してそれぞれを設定して下さい。  
※[秒]は、[分]の設定中に進むボタン▲/戻るボタン▼を押すごとに 00 秒に設定されます。
- ④[12/24 時間表示]の設定が終了したら設定ボタン■を押して下さい。  
→点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、時刻・日付設定が完了します。

[例] 2026 年 6 月 10 日 午後 12 時 38 分を設定する場合

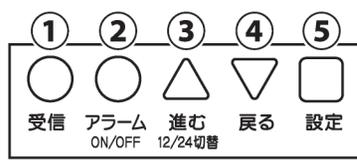




■SNOOZE/LIGHTボタン:  
 スヌーズ機能に使用します。  
 1回押すと、ライトが約5秒間点灯します。

▲注意  
 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因になります。

裏面操作ボタン拡大図



- ① 受信ボタン ●: 手動受信と受信中止するときに使用します。
- ② アラームON/OFFボタン ●: アラーム時刻設定に使用します。  
アラームのON/OFFを切替えます。
- ③ 進むボタン ▲: 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。  
長押しで早く進める事ができます。  
通常時刻表示のときに押すと、12/24時間表示を切替えます。
- ④ 戻るボタン ▼: 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。  
長押しで早く戻る事ができます。
- ⑤ 設定ボタン ■: 時刻設定に使用します。

**環境目安表示** 温度と湿度の数値から、現在の環境状態を表示します。  
 ※温度と湿度の数値によっては、何も表示しない場合があります。  
 ※環境目安表示は、あくまで空調や体調管理の目安です。  
 公的機関から発表される「注意」「警報」などとは一致しない場合があります。  
 ※本製品は、商取引や証明には使用できません。また、医療及び業務用製品ではありません。

快適 ☺ 温度が+20.0~+25.0℃、湿度が40~69%の範囲内のとき表示します。  
 多湿 ☹ 湿度が70%以上のとき表示します。  
 乾燥 ☹ 湿度が40%以下のとき表示します。

**ご使用方法**

- ① 表示ラベルを剥がして下さい。  
 ※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- ② 電池フタを開けて単3形乾電池2個を⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じます。  
 →電池を入れると「ピッ」と確認音が鳴った後、液晶面が表示され、電波の受信を開始します。  
 ※受信中は受信マーク▶が点滅します。  
 ※受信には最長14分かかります。
- ③ 受信の結果を確認する。(本書「受信の状態について」を参照。)  
 ● 受信成功→受信マーク▶が点灯し自動的に時刻・日付を修正して表示します。  
 ● 受信失敗→受信マーク▶は消灯します。時刻・日付は修正されません。



**手動受信について**  
 電波受信が終了(受信マーク▶が点灯、または消灯しているときに受信ボタン●を押すと、電波受信を開始します。※電波受信中に受信ボタン●を押すと電波受信を終了します。

**電波受信ができなかった場合は...**

- ① 手動で時刻を設定し、朝までそのままにしておく  
 本書「手動で時刻を設定する」を参照して、現在時刻に合わせて時刻を設定し、一晩そのままに下さい。一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。
- ② 設置場所を変える/受信をやり直す  
 本書「電波時計についての電波を受信しにくい環境」を参考に、設置場所を変えて、再度、受信をさせて下さい。  
 ※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

**ライト機能について**  
 SNOOZE/LIGHTボタンを押すと、ライトが約5秒間点灯します。

**12/24時間表示切替について**  
 通常時刻表示の時に進むボタン▲を押すと、12/24時間表示を切り替えることができます。

**アラーム機能について**

**アラーム時刻の設定**

注意 ※電波受信中(受信マーク▶の点滅中)は手動による時刻設定はできません。  
 ※設定中の点滅は約60秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

例) 午前7時10分にアラームスヌーズ間隔を5分に設定する場合

1. アラーム設定モードに入る  
 ① 通常時刻表示のときにアラームボタン●を1回押すとアラームマーク▶が点灯します。  
 ② アラームON/OFFボタン●を2秒以上押すと[時]が点滅し、アラーム設定モードに入ります。
2. [時]を設定する  
 ① [時]が点滅している間に進むボタン▲/戻るボタン▼で[時]を合わせて下さい。  
 ※[AM(午前)]と[PM(午後)]を間違えないように注意して下さい。  
 ② アラームON/OFFボタン●を1回押して下さい。
3. [分]を設定する  
 ① [分]が点滅している間に進むボタン▲/戻るボタン▼で[分]を合わせて下さい。  
 ② アラームON/OFFボタン●を1回押して下さい。
4. [スヌーズ間隔]を設定する  
 ① [スヌーズ間隔]が点滅している間に進むボタン▲/戻るボタン▼で[スヌーズ間隔]を合わせて下さい。  
 ※5~60分の間の任意の時間で設定ができます。  
 ② アラームON/OFFボタン●を1回押して下さい。  
 →アラーム設定時刻が表示されて、設定が完了します。

※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。  
 ※アラームマーク▶の点灯中はアラームがONの状態です。カレンダー部分はアラーム時刻表示に切替わります。  
 ※アラームの12/24表示は時刻表示と連動しています。進むボタン▲で切替えができます。  
 12時間制表示のとき、[AM(午前)]と[PM(午後)]を間違えないように注意して下さい。

**アラームの鳴らし方**  
 通常時刻表示の時に、アラームON/OFFボタン●を押してアラームマーク▶を点灯させる。  
 →アラーム設定時刻になるとアラームが鳴ります。

**アラームの止め方/スヌーズ機能**  
 アラームを止めるには3通りの方法があります。

1. アラームを完全に止める  
 SNOOZE/LIGHTボタン以外のボタンを押す。  
 →アラームが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。  
 アラームマーク▶は点灯したままです。  
 ※アラームが鳴っている間はアラームマーク▶が点滅します。  
 ※アラームマーク▶を消灯するには、もう一度アラームON/OFFボタン●を押して下さい。アラーム機能が解除されます。
2. アラームを一旦止め、設定したスヌーズ間隔時間経過後に、再度アラームを鳴らす(スヌーズ機能)  
 アラームが鳴っている間にSNOOZE/LIGHTボタンを押すと、アラームが一旦鳴り止まり、再び鳴り出します。  
 ※スヌーズ間隔時間は、アラーム時刻の設定時に5~60分の間で任意の時間が設定できます。  
 ※スヌーズ機能中はスヌーズマークZzが点滅します。  
 ※スヌーズ機能は無制限で繰り返すことができます。  
 ※スヌーズ機能中にSNOOZE/LIGHTボタン以外のボタンを押すと、スヌーズ機能は解除されスヌーズマークZzが消灯します。
3. アラームを自動的に止める(オートストップ機能)  
 アラームは鳴り出してから1分で自動的に止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。 ※アラームマーク▶は点灯したままです。